

島尾・松田江浜(氷見市)での漂着物調査の様子(9/28)

富山県と(財)環日本海環境協力センター(NPEC)では、漂着ごみの実態を把握するとともに、参加者の皆様に海を守ることの大切さを理解していただくため、日本、中国、韓国、ロシアの沿岸自治体と連携して「海辺の漂着物調査」を実施しています。

9月28日は島尾・松田江浜で約100名の皆さんが漂着物調査に熱心に取り組まれました。当日は、暑い中、ありがとうございました。

【参加者】 氷見市立窪小学校(5年生)、氷見市、富山県、NPEC職員

【調査結果の概要】

100m²あたりの漂着物平均個数は862個(うち、「発泡スチロール類」の割合が51%(439個)と最大)
100m²あたりの漂着物平均重量は7,117g(うち、「プラスチック類」の割合が45%(3,198g)と最大)

漂着物調査の様子



漂着物問題に関する意見交換

